

令和5年新年祝賀会 大使挨拶(2023年1月18日)

明けましておめでとうございます。お寒い中、令和5年新年祝賀会にお越しいただき誠にありがとうございます。昨年暮れに着任しまして初めての新年会を開催させていただきますが、コロナ禍のため3年ぶりと同っており、皆様とともに久々にウィーンで新年をお祝い出来ますことを大変嬉しく思います。懐かしくお目にかかる方も、初めてお目にかかる方も、それぞれに良い新年を迎えられたものとお慶び申し上げます。

久々にウィーンに戻って感じますのは、地球温暖化のせいかわりに暖かいなということと、やはり物価が高くなったな、ということです。カフェの Tagesmenü をとっても飲物付だと 20 ユーロ近くするというのも時代の流れを感じます。コロナの影響もあるでしょうし、ウクライナ危機やロシアへの制裁の余波ということも確かにあるのかもしれないな、とも思われます。

今年日本は G7 の議長国として世界の諸問題に積極的に関与していくこととなりますが、オーストリアとの二国間関係や OSCE の場において、大使館としても皆さんのビジネスを始め日本の国益のためにしっかり働けるよう努める所存です。明るい話題としては、今年は明治になって日本が初めて参加したウィーン万博開催 150 周年に当たるということで、それに因んでいくつかのイベントの開催が予定されています。まだこれから仕込んでいくものもありますし、皆さんからも、今からでも遅くないので、何かイベントを考えられている方がおられれば、ウィーン万博 150 周年とも関連付けていただければ幸いです。

ドイツやオーストリアの医療専門家によれば、コロナもそろそろパンデミックではなくなり、エンデミックになるとのことです。大使館の活動も全面的に正常化して皆さんとともに経済の活性化に貢献するとともに、デジタル化の推進により領事サービスの向上にもつなげることができればと思っております。

最後になりますが、皆様の益々のご健勝とご活躍、在ウィーン日本人社会の益々の発展をお祈りするとともに、ウサギのように跳躍する 2023 年を祈念して私からの挨拶に換えさせていただきます。

(了)